



渡瀬小学校150年の歴史に幕を下ろす

明治7年に開校され、150年の歴史を歩んできた渡瀬小学校は、令和7年3月末に閉校となりました。

3月7日(金)に行われた閉校記念式典には大勢の方が参列し惜別と感謝を伝える会となりました。これから渡瀬の子どもたちは、今までの歴史を受け継ぎながら、青柳小学校で新しい仲間とともに学校生活が始まります。



受章おめでとうございます

令和6年8月1日(木)付けで発令された高齢者叙勲にて、町内より飯塚 幸雄 氏(下阿久原)が受章されました。

受章の内容は以下のとおりです。おめでとうございます。

瑞宝双光章
飯塚 幸雄 氏(元特定郵便局長)



あたたかな食事に感謝

2月20日(木)に発生した林野火災の際、消火活動従事者に対し、冬桜の宿神泉の施設を開放し、温かい食事と休憩場所を提供していただきました。

ふぁーむニコ株式会社 代表取締役 室井 崇邦 様に感謝の意を表し、神川町と児玉郡市広域消防本部より感謝状を贈呈しました。



未来へ羽ばたく103名

3月14日(金)、春の訪れを感じる穏やかな日差しのもと、神川中学校の卒業式が行われました。令和6年度は103名の卒業生が、新たな一歩を踏み出しました。

式では、卒業生一人ひとりが誇りを胸に証書を受け取り、感謝や決意の思いを噛みしめながら最後の時間を過ごしました。ご卒業おめでとうございます。



eスポーツを体験しました

2月3日(月)~7日(金)中央公民館で「eスポーツ体験会」が実施され、31名の方が体験しました。

eスポーツはビデオゲームなどの対戦によるスポーツ競技で、だれでも一緒に楽しめることから近年様々な場面で注目を集めています。

今回参加された皆さんも居合わせた相手と競い、応援しあいながら楽しんでいました。

認知症高齢者等見守りシール ~外出して戻れなくなった経験がある方のために~

問合せ 地域包括支援センター ☎0495-74-1155 FAX0495-74-1156

【見守りシールって?】

見守りシール(右写真)の二次元コードを読み取ると、発見者と対象者のご家族等がインターネット上で情報共有でき、身元確認や家族への引き渡しができる「どこシル伝言板システム」を利用したサービスです。

個人情報を開示することなく、発見から保護、ご家族への引き渡しまでを安心・安全・迅速に行えます。

【迷っている人を発見したら】

- 正面からやさしく声を掛けてください。
- シールが貼ってあれば、二次元コードを読み取ってください。専用掲示板から保護者と連絡を取れます。
- シールがない場合は、警察へ連絡して保護を求めてください。

【使い方】



町民インタビュー ~いきいきシニアライフ~

問合せ 地域包括支援センター ☎0495-74-1155 FAX0495-74-1156

これまでの生活は?

北海道江差町で4人姉妹の三女として生まれ、学生時代は陸上部で汗を流しました。卒業後は上京し就職、同僚の夫と結婚して2人の子どもに恵まれました。団地暮らしで夢はマイホームを持つことでした。縁あって神川町に家を建て、夫の定年後に夫婦で転居しました。近所の方が家族のように見守り、風習等わからないことを教えてくれたので、感謝しています。



現在の生活は?

午前4時30分起床し夫の弁当作りで1日がスタート。日中は家事や編み物、体操教室で覚えた運動をして、体調の良いときには30分程度の散歩に行きます。食生活では夫が町のふれあい農園で野菜を作っているので、その野菜の味を生かしながら塩分等気をつけ調理しています。

体を動かすことが好きでリズム体操や3B体操、町の体操教室に参加していましたが、転倒して骨折、さらに体調不良も重なり運動ができなくなりました。その後、体調も回復してきたので再び町の体操教室に参加し始めました。運動するようになって体の調子が良くなったと実感しています。

これからの目標は?

元気なうちから運動することの大切さを感じています。旅先を元気に歩き回れるよう、これからも体操教室に参加して健康を維持していきたいです。

